

授業科目名	周産期学（正常編） <i>Perinatology I</i>		担当教員	西田 眞	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	正常な妊娠・分娩・産褥のアセスメントに必要な周産期学の知識として、妊娠の成立過程さらに妊娠分娩産褥に伴う生理的变化について考察する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠の成立と維持に必要な内容が説明できる 2. 胎児の発育、胎児・胎盤系について説明できる 3. 妊娠・分娩・産褥に伴う母体の生理的变化を説明できる 4. 産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転について説明できる 5. 母子の栄養、母子感染について説明できる 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 妊娠の成立と維持（西田眞 吉田紘子：福岡赤十字病院） 2回 胎児の発育および、器官形成、分化と生理（石山） 3回 胎児胎盤系の生理 胎児・胎盤ユニット 胎盤の剥離機転と止血機構（西田眞、吉田紘子：福岡赤十字病院） 4回 妊娠による母体の生理学的変化 （性器及び局所 全身：循環器系、消化器系、腎・泌尿器系、代謝・内分泌系） （西田眞、一戸晶元：福岡赤十字病院） 5回 出産による母体の生理学的変化 （性器及び局所 全身：循環器系、消化器系、腎・泌尿器系、代謝・内分泌系） （西田眞、一戸晶元：福岡赤十字病院） 6回 産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転、胎位・胎勢 （西田眞、篠崎智子：福岡赤十字病院） 7回 母の栄養、DOHad 学説（永松） 8回 子どもの栄養（母乳育児含、母子感染、（吉永） 				
学習方法	本科目は助産師が責任を持って行う正常な妊娠の診断、分娩経過の診断、分娩介助、褥婦の診断を行うための基礎となる科目です。周産期学（異常編）と連動し、正常と正常からの逸脱の判断ができるよう知識の習得を目指します。				
オフィスアワー	担当教員 西田とメール（mnishida@fukuoka-med.jrc.or.jp）等で連絡を取り、日時を調整する。				
テキスト	荒木勤：最新産科学 正常編 第22版. 東京，文光堂，2008. 進純郎：分娩介助学. 東京，医学書院，2005.				
参考文献	産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産婦人科学会，2014. 池ノ上克：NEW エッセンシャル 産科学・婦人科学. 東京，医歯薬出版，2004. 丸尾猛他編：標準産婦人科学 第3版. 東京，医学書院，2004. 医療情報科学研究所編：病気がみえる Vol.10 産科 第3版. 東京，メディックメディア，2015. 早川智他：生殖免疫の話. 東京，診断と治療社，2014. 武谷雄二総編集：新女性医学大系 生殖内分泌. 東京，中山書店，2002.				
評価方法	筆記試験（100%）				